

ハボタンの11月下旬出荷の作型における品種特性

山本陽平・岡澤立夫
(園芸技術科)

【要 約】ハボタン11月下旬出荷の作型では、ポット出荷時には「ファーストレディ、F₁グロッシーレッド」などが有望である。

【目 的】

ハボタン(アブラナ科)は冬季の定番品目であり、鉢物や切花など広く利用されている。各種苗会社からは様々な葉色、草姿の品種が発売されており、都内での生産量も近年増加している。そこで、11月下旬出荷作型での出荷時の観賞性を評価する。

【方 法】

ハボタン19品種(表1)の種子を、2018年7月30日に播種用培土(TM-2)を充填した288穴セルトレイに播種し、覆土した。その後、同年8月23日に3.5号黒ポリポットへ1本鉢上げした。鉢上げ用土は赤土:腐葉土:ピートモス=5:3:2(容積比)の混合用土とし、基肥は用土100Lあたり、被覆複合肥料14-12-14(エコロング424-100タイプ)=400g、化成肥料6-40-6(マグアンプK中粒)=200g、過リン酸石灰0-17-0=250g(用土100Lあたり成分量でN=54g、P₂O₅=158g、K₂O=54g)、加水分解型緩効性肥料12-12-12(スーパーIB)=200gを予め施用した。また、適宜わい化剤の使用を行っている(スミセブンP液剤を2回、ビーナイン水溶剤80を2回、それぞれ葉面散布)。同年11月27日に品種特性の評価を行った。

【成果の概要】

1. 栽培期間中の気温は、全体を通して平年より高い気温で推移した。特に8月上旬の生育初期は平均気温が30℃を超える日もあり、徒長のしやすい環境下にあった(図1)。
2. 葉色は、黒系統では十分に発色したが、赤・白系統では、発色が不十分なものがあつた。巻きは品種間差があり、充実の程度は異なつた。株の大きさは「ファーストレディ、ブラックエンジェル、紅霧、F₁グロッシーレッド、F₁フェザーホワイト」で均一になつた。株高が低く株張が大きい品種で、揃いが良くなる傾向がみられた(表2)。以上3項目で高い評価を得た品種は「ファーストレディ、F₁グロッシーレッド」の2品種であつた(図2)。

【残された課題・成果の活用・留意点】

1. 今試験では、ポットでの評価を行った。今後は、露地に定植した際の草勢の変動や葉色の変化などを、画像解析などを用いて定量的に評価する必要がある。

表1 供試品種

番号	品種名	種苗会社 ^{a)}	葉色/葉形/立性
1	エレガンス	石	赤/丸葉/○
2	白霧	石	白/丸葉/ー
3	スノーブライト	石	ピンク/丸葉/○
4	ピーチレディ	石	ピンク/フリンジ/○
5	ファーストレディ	石	赤/フリンジ/○
6	ブライトローズ	石	赤/丸葉/○
7	ブラックエンジェル	石	黒/フリンジ/○
8	ブラックリーフ	石	黒/フリンジ/○
9	紅霧	石	赤/丸葉/ー
10	ホワイトレディ	石	白/フリンジ/○
11	パニーホワイト	サ	白/強い縮み/ー
12	パニーレッド	サ	赤/強い縮み/ー
13	円(まどか)春の宴	サ	ピンク/丸葉/ー
14	レッドドレス	サ	赤/ちりめん/ー
15	F ₁ グロッシーレッド	タ	赤/ちりめん/ー
16	F ₁ 恋姿	タ	赤/丸葉/○
17	F ₁ 晴姿	タ	ピンク/丸葉/○
18	F ₁ フェザーホワイト	タ	ピンク/切れ葉/○
19	F ₁ フェザーレッド	タ	赤/切れ葉/○

a) 石：(有)石井育種場，サ：(株)サカタのタネ，タ：タキイ種苗(株)

表2 供試品種の特性評価

番号	株張 (cm)	株高 (cm)	葉色 ^{a)}	巻き ^{b)}	揃い ^{c)}	評価 ^{d)}
1	15.4	15.4	△	○	△	
2	18.8	8.4	○	△	△	
3	14.6	11.7	○	△	△	
4	14.7	15.7	○	○	×	
5	16.8	13.6	○	○	○	◎
6	13.7	15.9	△	△	×	
7	16.5	15.0	○	○	△	○
8	20.1	15.0	○	△	△	
9	19.2	9.0	○	△	○	○
10	15.9	14.7	○	○	×	
11	17.8	7.8	×	×	△	
12	19.3	9.8	×	△	△	
13	12.0	13.5	△	○	△	
14	17.6	7.1	△	○	△	
15	21.3	8.6	○	○	○	◎
16	14.0	17.9	△	○	×	
17	13.7	18.0	△	○	△	
18	17.9	15.6	○	○	△	○
19	17.5	14.1	○	△	△	

- a) ○：発色が充分なもの，△：発色がある程度進行しているもの，×：発色がほとんど進行していないもの
 b) ○：葉数が充分なもの，△：葉数がある程度揃っているもの，×：葉数が少ないもの
 c) ○：株の大きさが均一なもの，△：株の大きさに多少のばらつきがあるもの，×：株の大きさが揃っていないもの
 d) 葉色，巻き，揃い全ての項目で○となったものを◎，○が二つと△が一つとなったものを○とした。

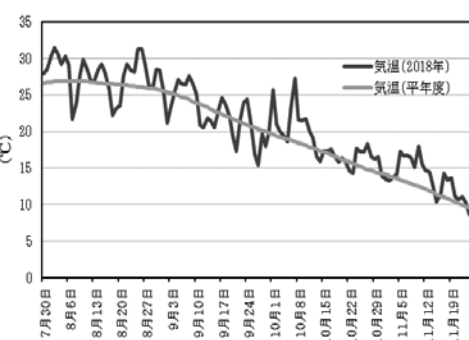


図1 栽培中の気温の推移

注) 平均気温は，気象庁による府中市のデータを基に作成(1981年～2010年)

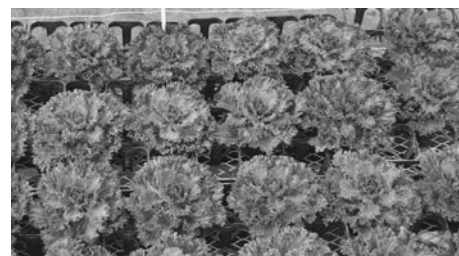
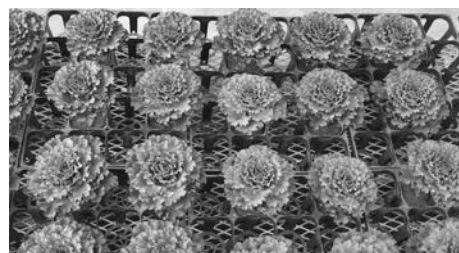


図2 特に評価の高かった品種

上：ファーストレディ
 下：F₁ グロッシーレッド